



## 島嶼地域における植物種の多様化の解明

生物資源科学部 助教 須貝 杏子

「島」は外からの移入が制限され、面積が限られた生態系です。「島」はそれぞれ固有の地史をもち、特異な生態系が形成されています。「島」に偶然辿り着いた植物はどのように多様化してきたのでしょうか。「島」という環境は進化の実験場とも呼ばれ、生物の進化を突き詰めていくのに絶好の場所です。

私たちは、野外調査と遺伝解析を組み合わせて研究を進めています。対象とする植物が生育する環境を調べたり、採集した標本資料をもとに形態的な比較を行ったりすると共に、DNA塩基配列を解析することで、「島」の植物の多様化の実態を明らかにします。

一方で、「島」に生育する植物の中には絶滅の危機に瀕しているものも少なくありません。そのような植物の分布、生育状況、遺伝的多様性などを把握することで、島嶼生態系の保全に貢献しています。



写真1：小笠原諸島父島



写真2：  
小笠原諸島の固有種オオハマボウ